



網走市新庁舎建設基本構想（案） 概要版

令和2年7月

『網走市新庁舎建設基本構想』は、現庁舎の課題（耐震性の不足、施設・設備の老朽化、省エネ・バリアフリー等への対応不足など）を解決するため、網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会や地域説明会、まちづくりふれあい懇談会、市民アンケートなどの意見・提案を踏まえ、基本理念や方針、建設位置などを定める「構想編」と、これをより具体化し、新庁舎に備える機能や規模など、今後の設計や施工に向けて基本的な整備方針を整理する「計画編」を併せて策定するものです。



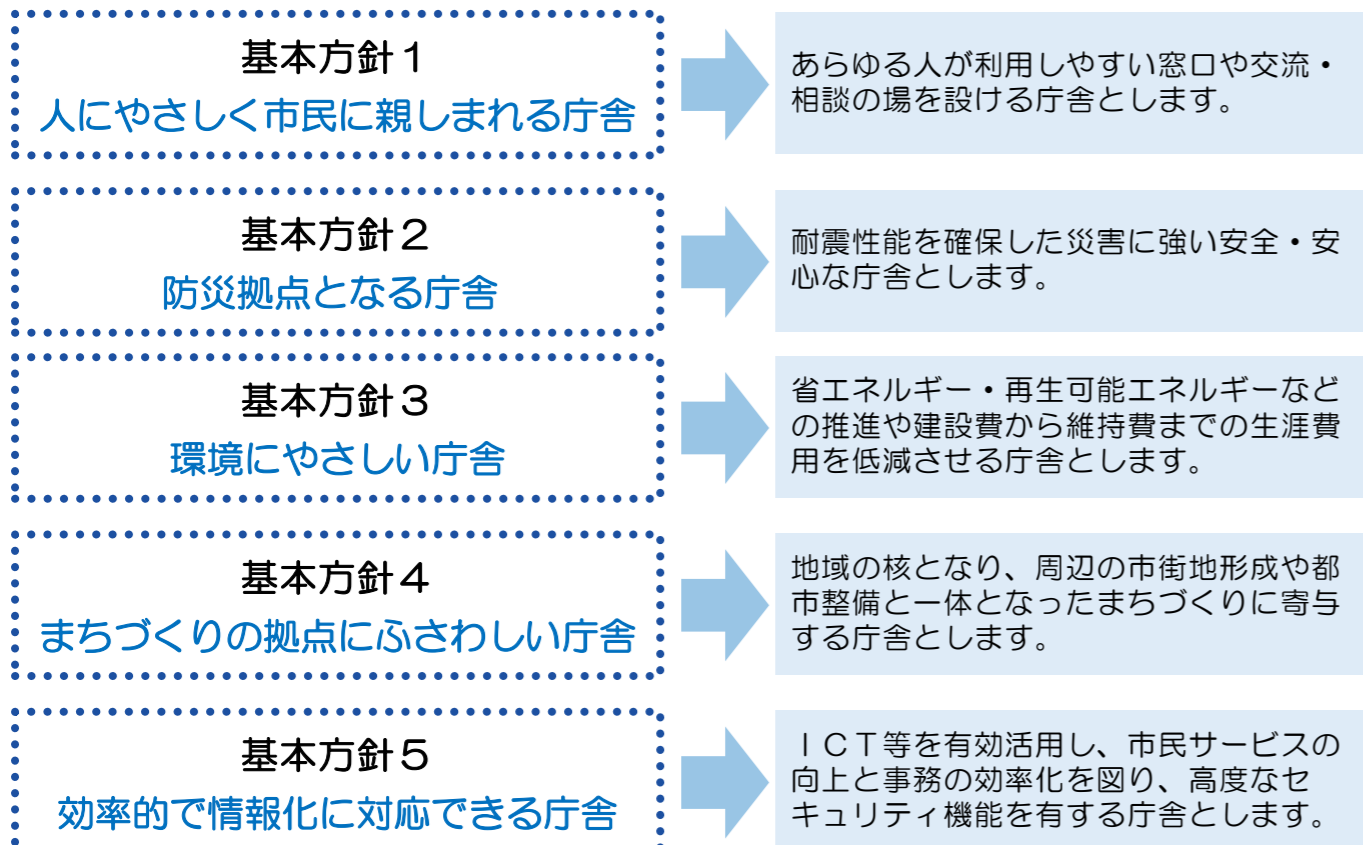
〈現庁舎：本庁舎（上）／西庁舎（下）〉

新庁舎の基本理念・基本方針について





現庁舎の課題や新庁舎の果たすべき役割などの整理をもとに、より充実した市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指して、新庁舎建設の基本理念を次のように設定します。

基本理念

市民に自然にやさしいスマート庁舎



新庁舎の機能について

基本方針	導入機能・方針
基本方針1 人にやさしく市民に親しまれる庁舎	窓口機能 <ul style="list-style-type: none"> 窓口業務を行う関連部署を低層階に集約 ワンフロアストップサービスの採用 使いやすい、わかりやすい窓口カウンターを設置 プライバシーに配慮した相談スペースの設置 
	行政事務機能 <ul style="list-style-type: none"> 効率的で最小限の執務スペース 間仕切りのないオープンフロア ユニバーサルレイアウトの採用 会議形態や利用人数に対応できる会議室など 
	バリアフリー ユニバーサルデザイン機能 <ul style="list-style-type: none"> 総合案内の設置 わかりやすい案内表示板 障がい者等に配慮した駐車場 多目的トイレや授乳室等の設置など 
	議場・議会関連諸室機能 <ul style="list-style-type: none"> 市民に開かれた議会 議会関連諸室の効率的な配置 容易に議会情報を入手できる環境整備
基本方針2 防災拠点となる庁舎	防災拠点機能 <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の整備 重要諸室を中層階以上に設置 72時間の非常用電源の整備 一時避難スペースの確保など
	セキュリティ機能 <ul style="list-style-type: none"> 重要エリアの入退室管理 防犯カメラの設置 個人情報保護に配慮したレイアウトなど
基本方針3 環境にやさしい庁舎	環境負荷低減機能 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーの推進 再生可能エネルギーの活用、検討など
	維持管理機能 <ul style="list-style-type: none"> 建築物の長寿命化や更新時への配慮など
基本方針4 まちづくりの拠点にふさわしい庁舎	市民活動機能 <ul style="list-style-type: none"> 自由に過ごすことができる待合スペースの設置 駐車場はイベントや市民活動・市民交流に活用など 
	ICT機能 <ul style="list-style-type: none"> ICT機能を活用できる環境の整備 フリーWi-Fiの設置など
基本方針5 効率的で情報化に対応できる庁舎	情報セキュリティ機能 <ul style="list-style-type: none"> データ等のバックアップ機能の強化 庁舎内ネットワークの形成など

新庁舎の建設場所について

中心市街地の活性化、交通機関が整っている、都市計画マスタープランとの整合、関係官公署との連携などの観点で優れている



建設場所：金市館ビル跡地周辺敷地

A. 関連計画と周辺環境：

風間人口の増加は、新たな商業の立地や周辺への経済波及効果が期待できる

B. 利便性と交通体系：

金融機関、病院、商店街、飲食街など生活サービスに必要な機能はおおむね備わっており、新庁舎建設により利便性は高くなる

C. 防災拠点としての安全性と機能性：

国道39号線、国道244号線は、第一次緊急輸送道路に指定されており、関係官公署との連携を含め、緊急時の迅速な対応が可能である。

D. 経済性と実現性：

平坦な土地ではあるが、敷地面積が狭いため、民有地の取得等の検討・協議が必要となる。



〈図：金市館ビル跡地周辺敷地〉

〈表：配置イメージ〉

	A案 〈現市有地配置案〉	B案 〈市有地拡大配置案〉
配置パターン		
各案概要	<p>A案、B案ともに、金市館ビル跡地及び市道敷地を駐車場・イベント広場ゾーンとして活用します。</p> <p>庁舎を建設する庁舎ゾーンは、A案では市有地を活用します。また、B案では市有地及び隣接地を活用します。</p> <p>B案の場合、各階の床面積を広く確保できることから、設計の自由度が高まり、さまざまな建築計画の検討が可能になります。また、庁舎ゾーンが国道244号に面することから、A案に比べて、庁舎への出入りやバス利用者など市民の利便性が向上します。</p>	

新庁舎の規模・建設計画について

新庁舎の規模	
○職員数など	<p>…職員数：347人／議員数：16人</p> <p>※職員数は、現在の本庁舎、西庁舎、保健センターに在籍する人数</p> <p>※議員数は、「網走市議会議員定数条例」の人数</p>
○新庁舎の面積	<p>…約7,000㎡を基本に面積縮小に取り組む</p> <p>※現庁舎面積：6,721.0㎡</p> <p>(本庁舎：5,113.6㎡／西庁舎：1,607.4㎡)</p>
○来庁者用駐車場	<p>…72台を確保</p> <p>※現庁舎の駐車場台数：67台(本庁舎・西庁舎の合計)</p>
配置計画	
配置案	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A案</p> <p>新庁舎 875.00㎡</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>B案</p> <p>新庁舎 1,165.00㎡</p> </div> </div>
階層計画	
○低層階	<p>：市民利用エリア／窓口業務エリア</p> <p>市民の利用頻度が高い窓口や、市民が集うロビーや待合スペース</p>
○中層階～高層階	<p>：行政事務エリア／災害対応エリア(中層階のみ)／一時避難エリア</p> <p>市民利用の利用頻度が低い部署、災害対策本部やサーバー室や電気室等の重要諸室</p>
○高層階	<p>：議会エリア</p> <p>議場や傍聴席、委員会室</p>
構造計画	
<p>大規模地震が発生した場合にも、防災拠点施設としての機能が十分に発揮できる耐震性、安全性を確保するため、構造体の耐震安全性の目標を『耐震基準の1.5倍の強度』に設定します。</p> <p>構造形式は、イニシャルコスト、ランニングコストともに最も安価な『耐震構造』とします。</p>	

事業スケジュール

令和2年度～令和3年度：基本設計・実施設計
 令和4年度～令和5年度：建設工事・外構工事
 令和6年度：供用開始

概算工事費

約49億円

※7,000㎡の想定で道内自治体の建設工事費を参考に算定しています。

※設計費や外構工事費、備品購入費、引越費などの経費は別途となります。

発行：網走市
(庁舎整備推進室)

〒093-8555 北海道網走市南6条東4丁目
 TEL：0152-44-6111(内線341・351) FAX：0152-43-5404
 URL：https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/